

平成28年9月16日(金) 於：全水道会館  
「発達障害者の就労を考える  
～合理的配慮にみんなで備えよう～」



第1部講演 講師：松為信雄氏(文京学院大学)  
「合理的配慮にみんなで備えよう」

合理的配慮の歴史～合理的配慮の指針、事例、対応について説明された。

合理的配慮とは、事業主にはノウハウであり、障害者にとっては到達目標、支援者には調整基準であるということが印象的で、それぞれの受け止め方を示していただいた。

感想・松為先生の明確な情報が合理的配慮の考え方の根本な部分として理解できた。

- ・様々な切り口から、一人一人が身近な事、自分の事として捉え考えるものとなった。
- ・現場でどの様に活用するか試行錯誤していきたい。

第2部グループディスカッション コーディネーター：湯田正樹氏(NPO法人クロスジョブ東京)  
「それぞれの合理的配慮について」

企業・支援者・教育関係・保護者が入り混ざった11のグループを作り、「それぞれの合理的配慮について」のテーマでグループディスカッションを実施した。

グループ内でまとめたそれぞれの立場からの意見を発表し、最後に松為先生より一つ一つの意見にコメントをいただいた。今回は昨年につき、企業の方が多く参加され、白熱した議論を交わされた。

感想・合理的配慮に限らず、日頃感じている各立場の思いを聞いて良かった。

- ・今まで支援者側、保護者側の意見を聞く機会がなく、どんな課題や要望があるのかを聞くことができ非常に勉強になった。
- ・合理的配慮のアイデアとなった。
- ・保護者の立場も上手に聞いてくれ有意義な時間。
- ・今後子どもへの支援の参考になった。
- ・親の視点が新鮮で参考になった。

